

目 次	1
研究班の構成	1
I. 総括研究報告	
水道事業の流域連携の推進に伴う水供給システムにおける 生物障害対策の強化に関する研究	3
秋葉道宏	
II. 分担研究報告	
1. 閉鎖性水域における藻類異常発生予測モデルの構築	13
秋葉道宏, 西村修, 今本博臣, 佐野大輔	
2. 海外におけるアオコ等の水質汚濁対策の検証等	21
柳橋泰生	
3. カビ臭原因物質産生藍藻類の簡易同定法の構築	27
秋葉道宏, 藤本尚志, 浅田安廣, 松本恭太	
4. 生物障害ポテンシャル評価手法の確立	35
秋葉道宏, 藤本尚志, 浅田安廣, 松本恭太	
5. 粉末活性炭による2-MIBの効率的除去に関する検討	45
秋葉道宏, 浅田安廣, 三好太郎, 早坂俊一	
6. 粉末活性炭による2-MIB吸着に対する競合有機物成分の推定	55
秋葉道宏, 越後信哉	
7. 高分解能質量分析計を用いた水道水生ぐさ臭原因物質の探索 と簡易分析手法の提案	65
秋葉道宏, 高梨啓和, 藤原俊一郎, 北村壽朗	
8. 流域モニタリングネットワークのための 簡便な生物障害検出方法の構築	73
秋葉道宏, 清水和哉, 藤本尚志, 高梨啓和	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	101

